



第 83 号

平成 23 年 3 月 31 日

発行

本荘由利森林組合

由利本荘市水林 381

TEL 0184 24 4141(代)

FAX 0184 24 4143

木材流通センター 由利本荘市西目町沼田字新道下 1019 1 製材工場『木香里』 由利本荘市西目町沼田字新道下 1020 1
TEL0184 32 1088 FAX0184 32 1089 TEL0184 32 1080 FAX0184 32 1081

HP <http://www3.ocn.ne.jp/~honmori/> メール honmori@trad.ocn.ne.jp



平成22年度 地区座談会

写真：岩城・大内地区
会場：メープル

平成22年度 新役員決定

平成23年3月30日任期満了による本組合員役員選挙が執行されました。全地区で無投票による当選となり、理事20名、監事3名が決定しました。任期は3月31日から3年間となります。新役員は次のとおりです。

理事(20名) 届出順(順不同)

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 第1区 本荘地区 (定数4) | 第5区 由利地区 (定数2) |
| 初瀬 東一 (新任) 由利本荘市赤田 | 小松 貢 (再任) 由利本荘市前郷 |
| 加藤 勲 (再任) 由利本荘市福山 | 熊谷 典夫 (再任) 由利本荘市東鮎川 |
| 猪股 長一 (再任) 由利本荘市雪車町 | 第6区 鳥海地区 (定数2) |
| 佐藤 健一 (再任) 由利本荘市薬師堂 | 佐藤 喜久一郎 (再任) 由利本荘市鳥海町上川内 |
| 第2区 仁賀保地区 (定数3) | 鈴木 充 (再任) 由利本荘市鳥海町上笹子 |
| 荘司 範彦 (新任) にかほ市伊勢居地 | 第7区 東由利地区 (定数2) |
| 鈴木 敏規 (新任) にかほ市樋目野 | 小松 佳和 (再任) 由利本荘市東由利田代 |
| 齋藤 惣一郎 (再任) にかほ市象潟町横岡 | 畑山 作喜 (再任) 由利本荘市東由利宿 |
| 第3区 矢島地区 (定数2) | 第8区 大内地区 (定数3) |
| 豊島 晴紀 (再任) 由利本荘市矢島町元町 | 佐々木 幸一郎 (新任) 由利本荘市小栗山 |
| 小番 勲 (再任) 由利本荘市矢島町立石 | 岡見 晃一 (再任) 由利本荘市岩谷麓 |
| 第4区 岩城地区 (定数2) | 堀川 悌二 (再任) 由利本荘市葛岡 |
| 工藤 喜作 (再任) 由利本荘市岩城内道川 | |
| 伊藤 修二 (再任) 由利本荘市岩城滝保 | |

監事(3名) 届出順(順不同)

- | | |
|-------------------|-------------|
| 全地区 (定数3) | |
| 村上 佐左衛門 (再任) 鳥海地区 | 由利本荘市鳥海町才ノ神 |
| 加藤 進 (新任) 仁賀保地区 | 由利本荘市西目町西目 |
| 加藤 貞藏 (再任) 大内地区 | 由利本荘市岩谷町 |

平成二十二年

地区座談会開催

左記の日程で、各地区座談会が開催されました。森林組合の現状の説明の後、組合員と役員、振興局職員との間で質疑応答が行われました。

二月二日……矢島・由利・鳥海地区(日新館)
 二月三日……岩城・大内地区
 二月四日……仁賀保地区
 二月十日……本荘・東由利地区
 (むらすぎ荘)
 (湯楽里)

質疑応答

Q 森林・林業再生プランについて、欧米ではフォレストの待遇はパイロットクラスだが、日本での現状はどうか。また、今のナラ枯れについてどうか。組合支所の人数が少ないと思うが、どう考えているのか。

A (組合長)

再生プランは国の作成したもので、必ずしも即実行とはいきません。政治次第になると思います。支所の人数ですが、十分作業に支障ない人数です。

(振興局)

ナラ枯れは象潟で発生しています。焼却、おとり作戦などで虫の密度を減らす処理をしています。

Q 県内に建設される大型製材工場が話題になっているが、組合加工場との関わりはどうなるか。製材機械の償却も進み、修理費も嵩んでいる。由利の木の材質を考えると、合板用単板を製造してはどうか。二m材を原料とすることは、自伐林家にとっても有利でないか。

A、大型製材工場が材を消費すると、

材不足となり材価が上がると思いますが。組合工場とはバッティングしないと考えていますが、経営コストの掛からない方向をとっていきたい。

Q 路網整備に予算が付き盛んになったが、それだけでは稼げない。路網が走ってもその道路の改修・整備が必要でないか。例えば林業専用道路などはどうか。

A (にかほ市)

需要者が限られる為、現状では専用道路は難しい。
 (振興局)
 高効率生産団地では予算次第で実施の可能性はある。

Q 沢に入ると、手入れのされていない暗い山があるので、手入れを勧めたい。また、部落林についても若者や相続人はいるが、税金を納めるだけで境界がわからない状態。職員の手で作業するよう説明して欲しい。

A、集約化作業で対応できます。員外であれば組合員になってもらい、山主の了解も必要です。

2月23日、約120名の組合員が参加して、本荘グランドホテルで造林コンクール表彰授与式、林業講演会が開催されました。来賓あいさつ、入賞者の表彰授与の後、由利地域振興局櫻田森づくり推進課長より、審査講評がありました。林業講演会には、秋田県森林組合連合会会長佐藤重芳氏を招いて、林家としての立場や体験を交えての森林、林業を幅広い視野で捉えたお話を頂きました。

(入賞者紹介)

部門	順位	氏名	地区	樹齢 (樹種)
幼齡林の部	1位	金子 禮子	矢島	9
	2位	平嶋町内会	大内	9
	3位	院内財産管理会	仁賀保	8
枝打ちの部	1位	三浦 悦郎	本荘	15
	2位	工藤 慶一	大内	16
	3位	高橋 裕幸	岩城	26
保育間伐の部	1位	熊谷 繁	由利	35.51
	2位	二古有隣会	岩城	21
	3位	熊谷 徳夫	由利	45.48
伐収穫の部	1位	柴田 鉄之丞	岩城	46
育成天然林の部	1位	吉井 正善	大内	(ザツ)
	2位	佐々木 宗俊	由利	(コナラ)
	3位	佐々木 錬二	大内	(コナラ)

幼齡林の部

対象は7～9年生で、下刈など保育の実施状況や林木の成長状況を審査しました。1位の金子さんの林分は、尾根沿いで土地条件が若干不利でしたが成長もよく、枝払いを実施するなど手入れへの努力、意欲が感じられました。

枝打ちの部

林齢11～30年生で、つる切りや除伐が適切さ、枝打ちの高さと切り口の滑らかさを審査しました。1位の三浦悦郎さんの林分はこれまでの保育状態が良く、枝打ちの技術の高さが感じられました。ガニクサレの変色を防ぐためにも積極的に実施して下さい。

保育間伐の部

立木の成長度合い、間伐後の立木密度を重点に評価しました。気象災害に強い林分をつくるため、形状比についても考慮しました。1位の熊谷さんの林分は、適切な保育と枝打ちがされ、成長もよく、根曲がりもない、大変優れた林分でした。

収穫間伐の部

出品は1点ですが、計画的に除伐や枝打ち、切り捨て間伐が実施されてきた林分で、樹高成長も良く、根曲がりもなく、今回の収穫間伐率も適正で、モデルと言えるような優れた林分でした。道路沿いで展示効果も高いことから、今後秋田スギの間伐モデル林としての活用も期待されます。

育成天然林の部

樹種が多く、仕立て目標の立て方、そのための施業技術に注目しました。1位の吉井正善さんの林分は、樹種の種類が多く、森林ボランティアによる植樹や、森林環境学習会が行われるなど、地域への波及効果も大きいと考えました。

受賞おめでとうございます

表彰を受けられました皆様から敬意と祝意を表します。これからも立派な山づくりのために努力して頂きたい。
最初に、私の好きなことを紹介いたします。佐竹藩初代家老、洪江内膳征光公の「国の宝は山なり、然れども伐り尽くす時は用は立たず、尽きざる以前に備えを立つべし、山の衰えは即ち国の衰えなり」という言葉です。これは秋田の山を言ったものですが、全国の山にも置き換えられます。
最近、植林したまま手入れをしない山林と、皆伐したがその後植えない山林が目立ちます。不在林家の山の境界についても、境界を知る人がいなくなることで将来社会問題になると思います。
このように良くない状態が続く原因は何か。「木材価格」つまり立木の値段が安すぎることで、山林を巡る状況からみるとどうでしょうか。
山元立木価格は、昭和五十二年頃からずっと右肩さがりの状態です。杉・mでお願ひできる作業班の数も立木価格が下がるのに、人件費が高くなっています。
また、燃料や資材源として生活に山が欠かせなかった時代は、自分たちが体を使っていたが、店を出して利用していましたが、山と私に買えるようになったが、山と私

演題「森林は黙して語る」

〜今 森林と

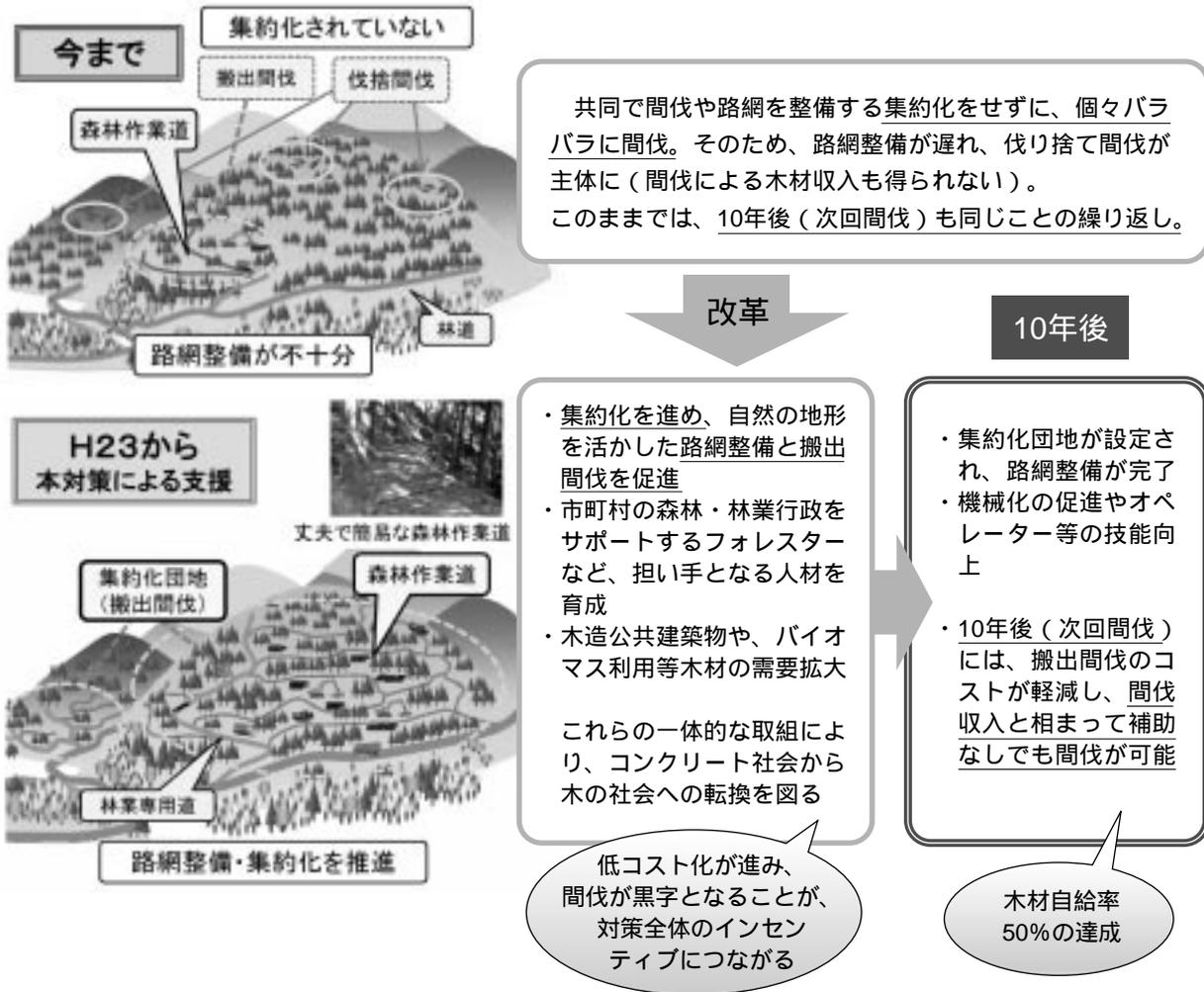
どう向き合うか

秋田県森林組合連合会会長

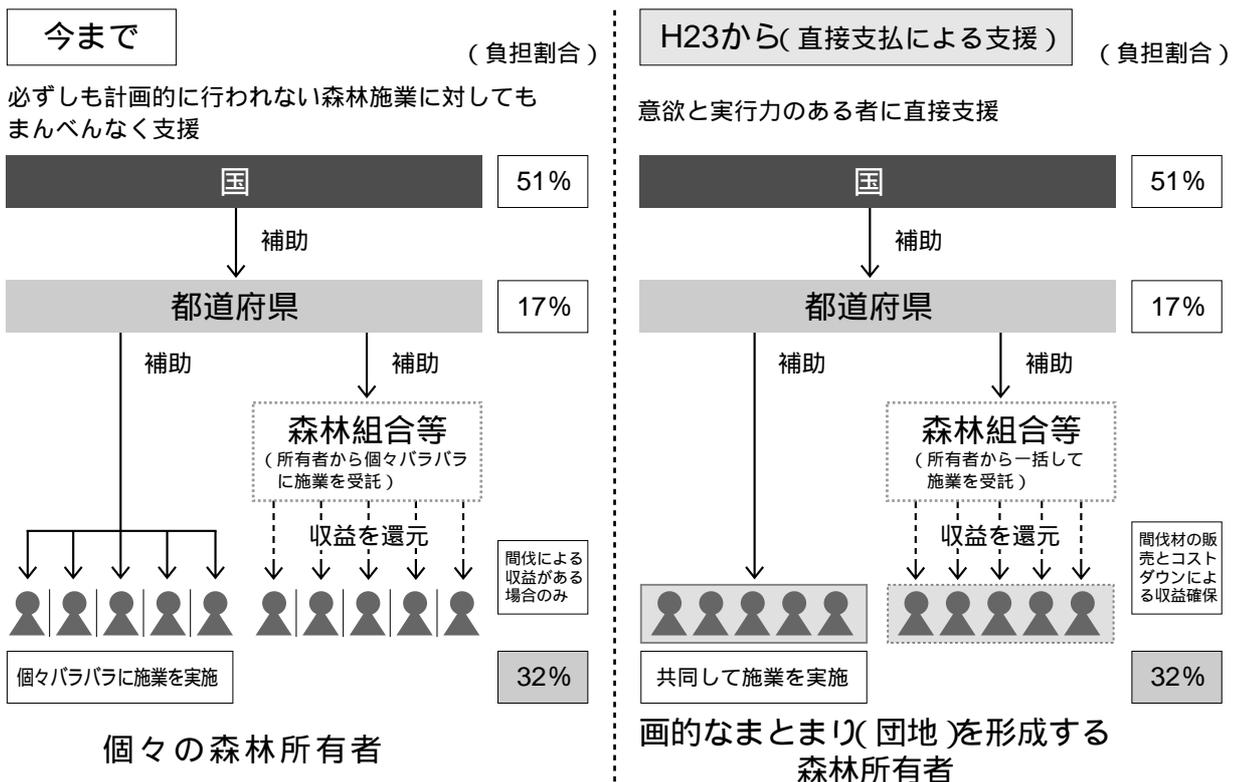
佐藤 重芳 氏

私たちの生活の結びつきが少なくなってきたことがあります。
戦後の復興時には世界史上、類のない住宅市場がありました。木材が足りない為、TPPが騒がれる三十五年前には完全に木材貿易を認め、外国から安い木材を輸入していたのです。国産材の価格は下がり、山林に経済価値はなくなりました。外材が安かったのは、投資がないところから得るから当然なことなのです。
その一方で、地球温暖化が問題となってきました。温暖化が進むと具体的には大雪、大雨、強風など様々な気候の変化が極端にでてくると考えられます。気候が変わり東北で米がとれなくなり、北海道が産地となったり、東南アジアの風土病マラリアなどが、土着となる可能性もでてきます。
京都議定書では、国内の二酸化炭素排出量を削減することを目標としていますが、現状での目標達成は不可能な状態です。二〇〇八年からの毎年の削減目標については、森林整備（森林吸収源）においてのみ目標達成しています。残り組みでの削減となっています。問題は海外排出取引です。少なくとも議長国がお金で権利を買っていないでしょうか。
一極集中で地方の過疎過密が激しい現代ですが、農山村が中心となる時代は必ず来ます。これから林業の道は険しいですが、将来の為に山を大事にし、しっかりとものを次の世代に引き継いでいく、それでいいのです。

平成二十二年 度 林業講演会(概要)



直接支払での補助金の流れ



森林環境保全直接支援事業 作業種

作業種	対象林齢	作業内容	補助要件等
人工造林		森林の造成を目的として行う地拵え、植付け	単層林施業を前提とする
下刈	～10年生	雑草木の除去	
雪起こし	～25年生	雪圧倒伏木の倒木起こし	
枝打ち	～30年生	林木の枝葉の除去	枝打ち高は上限を8mとする
除伐	～25年生	下刈りが終了した林分において行う、不用木の除去、不良木の淘汰	不用木の除去のみを実施する場合は伐採率を適用せず、その他の場合の伐採率は20%以上
間伐	～60年生	適正な密度管理を目的として行う不用木の除去、不良木の淘汰、搬出集積	1集約化実施計画あたり1年間で5ha以上かつ1haあたり平均10m ³ 搬出。伐採率は20%以上。5年以内に同一施行地において除伐、間伐を実施していないこと。

森林整備地域活動支援交付金制度(H23～)の改正について

「作業路網の改良活動」

対象森林：森林施業計画認定森林

交付対象者：市町村と協定を締結したもの

対象となる活動内容：森林施業の基盤となる作業路網において、点検や改良を行い丈夫で簡易な作業道に転換する諸活動

- ・既設作業道の点検（改良の発生原因を特定）
- ・点検に基づく改良計画の作成
- ・点検結果を基に実施する既設作業道の改良
崩土除去、路盤改良、土留、排水施設など

H22年度まで対象となっていた「境界の確認、杭打ち、刈払い」「作業道等の維持修繕（草刈り、側溝の泥上げ、砂利敷き）」は対象になりません。

交付を受けるための要件

当年度に点検・改良等を実施し、市町村に報告書等の必要書類を提出
必要な提出書類

- ・地域活動の実施結果に係る報告書
- ・地域活動の活動内容を整理した書類
作業日誌、出役簿、改良に要した図面、写真整理簿など
- ・地域活動にかかった経費の報告書（出納簿、契約書類、領収書など）

詳しくは本所又は各支所にご相談ください。

木材市況情報 (平成23年)

単位：円、上段(石当り価格)
下段 m³当り価格

樹種	材長 m	径級 cm	1月11日			2月7日		
			本荘由利木材流通センター			本荘由利木材流通センター		
			高値	安値	平均価格	高値	安値	平均価格
スギ	3.65	16~22	(3,211) 11,560	(2,920) 10,512	(3,104) 11,176	(3,220) 11,593	(2,992) 10,774	(3,173) 11,426
		24~34	(4,083) 14,701	(3,194) 11,500	(3,377) 12,160	(3,543) 12,755	(3,499) 12,599	(3,515) 12,655
出材量・販売量・販売率			829m ³ (2,984石)・715m ³ (2,574石)・86%			494m ³ (1,778石)・448m ³ (1,612石)・90%		

1月：昨年末と比べて全般的に落ち着いた価格となり、特に乾燥材が好値となった。
2月：単価はやや強含みとなった。県内外ともに原木不足状況にある。

平成23年度 林業相談日(予定) 相談日は金曜日となります。

4月	8日・22日	7月	8日・22日	10月	7日・21日
5月	6日・20日	8月	5日・19日	11月	4日・18日
6月	3日・17日	9月	2日・16日	12月	2日・16日

総務課よりお知らせ

～ 出資証券廃止のご案内 ～

組合員の皆様よりお預かりしていました出資金については、出資証券の発行をしまいましたが、全国的な証券廃止の中で、当組合も平成23年1月28日より証券の発行を廃止いたしました。

これに伴い、新年度に組合員の皆様へ送付する予定の「出資金残高証明書」により、お手元の出資証券は無効となります。

また、出資証券は廃止日以降の新規発行、書換、再発行等を行いません。今後は申請がありました場合のみ「出資金残高証明書」を発行いたします。

十月
森林組合まつり

七月
平成二十三年
組合員技術講習会

七月
平成二十三年
連絡員会議

七月
各地区組合員研修視察

七月
第十七回通常総代会

五月
今後の行事予定

森林保険加入者のみなさまへ

今シーズンの豪雪により、森林への被害が多数発生している予想されます。

5年以内に間伐補助金を受け、森林保険に加入されている方は、被害の大小に関わらずお知らせ下さい。(被害地の保険加入の有無は、各支所へお問い合わせください。)